

はにわ通信

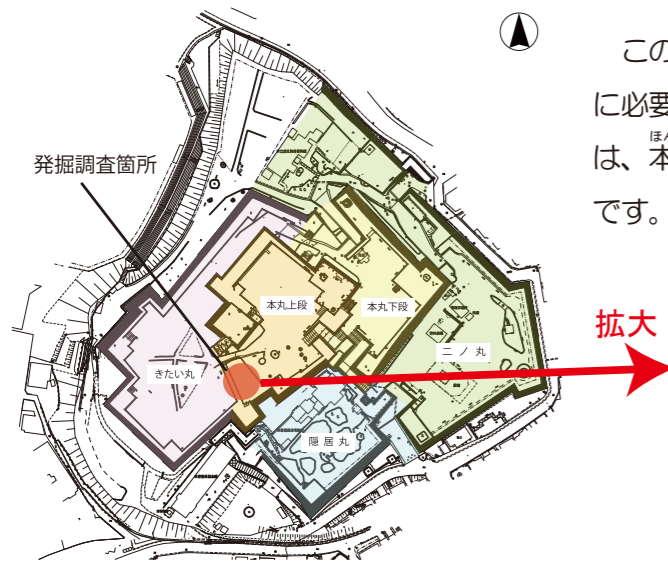
No.252 平成 28 (2016) 年 3 月号

2月14日には
現地説明会も
行いました。



【松坂城跡の発掘調査を行いました！】

松阪市文化財センターの仕事の1つに市内の遺跡の発掘調査があります。今年度もいくつかの発掘調査を行いました。その中でも、平成28年1月25日から約1ヶ月をかけて行った松坂城跡の発掘調査では、一定の成果が得られたので、今回はその調査の内容を紹介します。



【松坂城跡】

きたい丸側の石垣(写真①)は2段構造になっています。上段の下を掘ってみるとコンクリートが敷かれていました。つまり、上段の石垣はコンクリートが普及する明治時代以降に積まれたことがわかります。

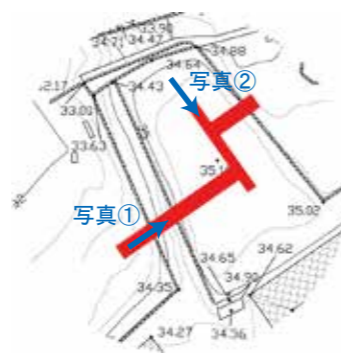


一列に並んだ状態の石を発見！【写真②】



伊勢国松坂古城之図 (一部分を抜粋)

この発掘調査は、今後松坂城跡の史跡整備を進めていくのに必要な情報を得るために実施しました。調査を行った場所は、本丸ときたい丸との間の台形状に張り出した石垣の部分です。



※赤で塗った部分が今回の調査範囲、青矢印が写真の撮影方向を示しています。

明治時代以降に積まれた石垣



石垣の下にコンクリートを発見！【写真①】

本丸側の石垣の上面(写真②)からは、石が一列に並んで見つかりました。この場所を江戸時代の初め頃に描かれた「伊勢国松坂古城之図」に照らし合わせてみると、地図には石垣が描かれています。これは江戸時代初め頃に積まれた石垣の一部かもしれません。

今回の調査で分かったことは松坂城全体で見ればほんの一部ではありますが、こうした地道な調査の積み重ねが重要と考え、今後も取り組んでいきます。(担当)

【春の到来…】

三月、百花競い咲く季節を迎えた。春に咲く花木は花の後に葉を広げるものが多い。まずはマンサクそしてハクモクレン、レンギョウなどが続く。春が待ちどおしかった分これらの花は、私たちには殊更に華麗で豪華に見える。そのうちにさくら前線が北上してくる。

里山や野辺を歩くのにはいい時期である。田んぼや畑の様子を観察しながら散策したり、古墳や遺跡をめぐるのもいいだろう。古くから人々が住んでいたこの地は遺跡の多い所で、今回の冬季企画展「金剛川流域の遺跡」では縄文時代から中世までのいくつかの遺跡を紹介している。多くが時の移り変わりの中で失われるなど当時の様子をとどめない中、久保町の久保古墳はその形をよく残している。



散策スポットとしては、宝塚古墳がお勧めで、古墳からの見晴らしは素晴らしい。四五百の森がまじかに見え、その向こうに伊勢湾を望む。伊勢の地と伊勢の海を勢力下においた古墳の主はこの景色にさぞかし満足して眠っているのだろう。「こんなところにこんなに大きなお墓を作ったのはオレ様だけなんだゾ。皆の者どうだ！！…」と威張っているのかも。そして、埴輪たちは「へっ、へっ…」と畏まっている。

3月のはにわ館では常設展とともに好評の冬季企画展「金剛川流域の遺跡」を3月21日まで開催しています。市民ギャラリーは、グループや個人の絵画、陶芸、いけばなの展覧です。南勢地区の高校生の美術展もあります。ぜひ、ご観覧下さい。(所長)

文化財センター はにわ館 & ギャラリー3月の催し物予定

3月の休館日は、7日(月)、14日(月)、22日(火)、28日(月)です。

開館時間は9:00~17:00です。

【はにわ館】 入館料 100円 (18歳以下無料) *入館は16:30まで

第1展示室 ■常設展「宝塚古墳の謎」

第2展示室 ■冬季企画展「金剛川流域の遺跡」 ~3/21(月・振休)

※はにわ館開館13周年記念につき3/20(日・春分の日)はにわ館入館無料!

【ギャラリー】 入場無料

第2G ■嬉洋会展 3/1(火)~6(日) *最終日は16:00まで

第1G ■陶嬉の会 作陶展 3/6(日)~13(日) *10:00~ *最終日は15:00まで

第2,3G ■南勢地区高等学校美術展 3/13(日)~20(日・祝) *最終日は15:00まで

第1G ■村林孝生の松阪と明和を描く絵画展 絵夢アトリエグループ展③

3/15(火)~21(月・振休) *初日は11:00~ *最終日は16:00まで

第1,2,3G ■第10回 いけばな青雅流展 3/26(土)~27(日) *最終日は15:30まで



バーコード読み取り
(文化財センター情報)